

2019年6月15日 写真甲子園2019 近畿ブロック審査会に出場 ©ビジュアルアーツ専門学校大阪

(第26回全国高等学校写真選手権大会)

淡路高校写真部は数年以上に渡って活動実績があまりなかったのですが、昨年度の半ばから少しずつ活動をはじめました。今年度は放送部と合併してメディアアート部として生まれ変わり、再スタートとなりました。実質的には今年度からようやく本格的に動き出したという状態です。

はじめて出場する大会に選んだのは写真甲子園こと全日本高等学校写真選手権大会。この大会はまず、8枚の組写真を制作しなければいけません。テーマを決めるため、撮影した写真を相互評価するため、方向性を擦り合わせるため、必要な要素を確認するため、何度も何度も部員たちはミーティングを繰り返しました。



撮影した写真は全部で約5000枚。これはかなり少ない数です。それでも、これまで写真の経験がほとんどなかったメンバーなりに頑張って撮影しました。そこから8枚を選びます。ただうまく撮れているだけの写真は要りません。必要なのは、自分たちのメッセージを伝えることのできる8枚。



完成した組写真は審査員の先生方の高評価を受けることができ、近畿大会出場15校に選出されました。これは、創部実質1年目にして初出場の部活としては間違いなく快挙です。残念ながら、近畿大会を突破して全国大会へは行けませんでした、大健闘です。

写真甲子園とは……

全国の高校生写真家を目指す一大イベント。チームで作成した組写真で争う。8枚からなる組写真による評価を経て、各地域ブロック審査会が行われ、上位チームが北海道で実施される本戦に参加できる。現在、近畿ブロック代表の和歌山県立神島高等学校が全国大会2連覇中。

